

令和 7 年 12 月 22 日

各 位

薬局 医薬品情報室

## 第 300 回薬事委員会 伊勢原協同病院 採用薬品等について

\*原則、令和 8 年 1 月 5 日以降より使用いたします。

院外採用薬はマスタ設定次第開始となります。

### 1. 新規採用薬品について

#### (1) ボルヒール組織接着用 3mL 製剤 (Meiji Seika ファルマ) 薬価：34,988.3 / 組 (用時購入)

ボルヒール組織接着用 3mL は、組織への物理的な浸透を最大限に活かせるよう設計され、柔軟かつ強固な閉鎖が求められる症例において臨床的な評価がされており、腭臓などの手術時に使用される方針です。

類薬であるベリプラスト P コンビセットと区別するため、手術時に使用する可能性が高い場合は、個別に購入する用時採用薬として採用します。

### 2. 院外採用薬品について

#### (1) ブリィビアクト錠 25mg (ユーシービージャパン) 薬価：373.3 / 錠

ブリィビアクト錠 25mg は、易刺激性（イライラ）などの精神症状の発現頻度が低く、初期用量から治療域に達するため、漸増期間が不要で即効性が期待できる点が大きな臨床的メリットです。また、従来の薬剤であるイーケプラは腎排泄主体ですが、ブリィビアクトは肝代謝主体の薬剤であることも臨床的に使用しやすい点となります。

#### (2) カナリア配合 OD 錠 (田辺ファーマ) 薬価：208.5 / 錠

カナリア配合 OD 錠は、テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物とカナグリフロジン水和物の配合剤です。カナリア配合錠に代わり口腔内崩壊錠を使用することで患者の服用の負担軽減が期待できます。

### 3. 採用区分変更の薬品について

#### (1) ルムジェブ注 100 単位/mL 薬価：258 / mL

ルムジェブ注 100 単位/mL は、2024 年 1 月より院内の処方が無く、院内の在庫も無くなるため院外採用へ変更します。

(2) ファロム錠 200mg 薬価：153.0 / 錠

ファロム錠 200mg は、2024 年 1 月より院内の処方が無く、院内の在庫も無くなるため院外採用へ変更します。

(3) ビクトーザ皮下注 18mg 薬価：8,434 / キット

ビクトーザ皮下注 18mg は、2024 年 1 月より院内の処方が無く、院内の在庫も無くなるため院外採用へ変更します。

(4) ノボリン R 注フレックスペン 薬価：1,167 / キット

ノボリン R 注フレックスペンは、2024 年 7 月より院内の処方が無く、院内の在庫も無くなるため院外採用へ変更します。

5. 販売名変更の報告

報告検討事項はありません。

6. メーカー変更の報告

田辺三菱製薬 → 田辺ファーマ

アンブラグ錠 100mg、オキナゾール膈錠 600mg、カナグル錠 100mg、  
ガストローム顆粒 66.7%、クリアナール錠 200mg、ゲーベンクリーム、コントミン筋注 10mg、  
コントミン糖衣錠 10mg、サアミオン錠 5mg、セレジスト錠 5mg、タナトリル錠 5、  
テネリア OD 錠 20mg、乳酸ビペリデン注 5mg「ヨシトミ」、バイカロン錠 25mg、  
ヒベルナ注 25mg、プロチゾラム錠 0.25mg「ヨシトミ」、リーゼ錠 5mg etc.

上記の薬剤についてメーカーが変更となります。

7. 特別採用薬品の報告

ー診療科限定ー

(1) ドブテレット錠 20mg [血液内科・院外] 薬価：7,106.6 / 錠

ー患者限定 臨時採用薬使用ー

(1) エナジア吸入用カプセル高用量 [呼吸器内科] 薬価：331.5 / Cap

(2) アウィクリ注 フレックスタッチ 300 単位 [内分泌糖尿病内科] 薬価：2,081 / キット

(3) ラツダ錠 20mg [整形外科] 薬価：159.1 / 錠

(4) レボレード錠 12.5mg [リハビリテーション科] 薬価：2,377.3 / 錠

上記薬剤は、現在特定の診療科又は特定の患者において処方されている、処方が予定されている特定使用薬品です。申請された診療科及び患者のみ使用可能となっています。

## 8. 後発医薬品切り替えについて

今回の薬事委員会において後発医薬品への切り替えを検討する薬剤はありません。

報告事項として以前の薬事委員会で後発医薬品“ベンダムスチン塩酸塩点滴静注液「トーワ」”を採用しましたが、諸般の事情により先発品“トレアキシ点点滴静注液”へ変更することが承認されました。

## 9. その他

### —流通関連—

#### (1) キシロカイン液 4% 100mL 限定出荷解除のお知らせ

キシロカイン液 4% 100mL は、2025 年 11 月 21 日より限定出荷が解除されました。

#### (2) キシロカイン注射液 エピレナミン含有製剤の限定出荷解除のお知らせ

キシロカイン注射液エピレナミン含有は、2025 年 11 月 21 日より限定出荷が解除されました。

#### (3) ロルカム錠 4mg 限定出荷解除のお知らせ

ロルカム錠 4mg は、2025 年 11 月 17 日より限定出荷が解除されました。

#### (4) ラシックス注 20mg 限定出荷解除のお知らせ

ラシックス注 20mg は、2025 年 12 月 4 日より限定出荷が解除されました。

#### (5) ジクアス L X 点眼液 3% 出荷停止の解除のお知らせ

ジクアス L X 点眼液 3%は、2024 年 5 月より出荷停止となっていましたが、2025 年 12 月 1 日より出荷停止が解除され限定出荷として供給が再開されました。

#### (6) ジスロマック点滴静注用 500mg 通常出荷再開のお知らせおよび処方制限解除について

ジスロマック点滴静注用 500mg は、2025 年 11 月 19 日より通常出荷が再開されたため、処方制限を解除しました。

#### (7) 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」出荷停止に伴う対応について

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」は、2025 年 8 月より出荷停止となり年内の出荷再開が見通せない状況です。在庫僅少のため、代替可能なおたふくかぜ生ワクチン「第一三共」を購入し対応します。

**(8) ポリフル細粒 83.3% 出荷停止に伴う処方制限について**

ポリフル細粒 83.3%は、製造委託先工場の事象のため市場の在庫が消尽次第、出荷停止となります。病院内の在庫および保険調剤薬局の在庫が消尽次第、ポリフル細粒 83.3%は、処方制限（処方停止）を実施します。

**(9) エリスロシン錠 100mg 出荷停止に伴う処方制限について**

エリスロシン錠 100mg は、製造委託先工場の事象のため市場の在庫が消尽次第、出荷停止となります。病院内の在庫および保険調剤薬局在庫が消尽次第、エリスロシン錠 100mg は、処方制限（処方停止）を実施します。

**(10) エリスロシンドライシロップ 出荷停止に伴う処方制限について**

エリスロシンドライシロップは、製造委託先工場の事象のため市場の在庫が消尽次第、出荷停止となります。病院内の在庫および保険調剤薬局在庫が消尽次第、エリスロシンドライシロップは、処方制限（処方停止）を実施します。

**(11) エリスロシン点滴静注用 500mg 出荷停止に伴う処方制限について**

エリスロシン点滴静注用 500mg は、製造委託先工場の事象のため市場の在庫が消尽次第、出荷停止となります。病院内の在庫が消尽次第、エリスロシン点滴静注用 500mg は、処方制限（処方停止）を実施します。

**(12) 献血グロベニン-I 静注用 5000mg 出荷停止について**

献血グロベニン-I 静注用 5000mg は、2025 年 10 月より出荷停止となりますが、代替薬“ヴェノグロブリン IH 製剤”も在庫が切迫している状況です。今後は、使用量が多い診療科と相談しながら対応する方針です。

**(13) 献血ノンスロン 1500 注射用 限定出荷について**

献血ノンスロン 1500 注射用は、製造工場における血漿分画製剤の製造プロセスの検証に確認すべき事象が発生したため 2025 年 11 月より限定出荷となりました。院内の在庫は、十分量有していますが、在庫が僅少となった際は、使用量が多い診療科と相談しながら対応する方針です。

**(14) ガンシクロビル点滴静注用 500mg 「VTRS」 供給に関するお知らせ**

ガンシクロビル点滴静注用 500mg 「VTRS」 は、製薬会社が供給量を確保できないため供給が制限されています。

**(15) カルタン OD 錠 500mg 供給に関するお知らせ**

カルタン OD 錠 500mg は、製薬会社が供給量を確保できないため供給が制限されています。

**(16) リンデロン注射剤 限定出荷のお知らせ**

リンデロン注射剤製品は、製薬会社の安定供給体制構築に向けたキャパシティ不足の発生により出荷量が低下している状況です。今後の対応として院内の在庫量を増加させますが、在庫僅少時には使用量が多い診療科と相談します。

**(17) 水溶性プレドニン製剤 限定出荷のお知らせ**

水溶性プレドニン製剤は、製薬会社の安定供給体制構築に向けたキャパシティ不足の発生により出荷量が低下している状況です。今後の対応として院内の在庫量を増加させますが、在庫僅少時には使用量が多い診療科と相談します。

以上